

2023年5月期 決算説明資料

2023年7月12日

 三協立山株式会社

✓ 2023年5月期実績 前期比 増収減益

- ◆ 売上は国内外での地金価格上昇に連動した増加や全事業で進めた価格改定などにより前期比で増収。
- ◆ 営業利益では、アルミ地金価格の上昇は一旦落ち着いたが、エネルギー価格や資材価格の上昇が継続。併せて建材事業での市場停滞を受けた販売物量の減少影響、商業施設事業での為替影響などにより減益。
- ◆ 当期純利益は国際事業の業績回復に伴い増益。
- ◆ 欧州子会社STEP-Gは前期比では収益改善が進んだが、自動車分野での販売量が計画を下回ったことから黒字化は未達となった。一方、国際事業全体では前期比で＋約23億円と大きく改善。

業績結果

(億円)

	12ヵ月累計（2022年6月～2023年5月）						
	2023/5期 実績	2022/5期 実績	前期比		2023/5期 見直計画	見直計画比	
			増減額	%		増減額	%
売上高	3,703	3,405	+298	+ 8.8%	3,780	▲ 76	▲ 2.0%
営業利益	26	37	▲11	▲ 29.4%	37	▲ 10	▲ 27.9%
営業利益率	0.7%	1.1%	—	▲ 0.4p	1.0%	—	▲ 0.3p
経常利益	34	41	▲7	▲ 18.6%	40	▲ 5	▲ 14.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16	3	+12	+ 312.2%	21	▲ 4	▲ 22.3%

	3ヵ月累計（2023年3月～2023年5月）			
	2023/5期 4Q3ヵ月実績	2022/5期 4Q3ヵ月実績	前年同期比	
			増減額	%
売上高	945	899	+46	+ 5.1%
営業利益	15	10	+5	+ 53.8%
営業利益率	1.7%	1.2%	—	+ 0.5p
経常利益	17	15	+2	+ 16.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10	0	+9	—

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

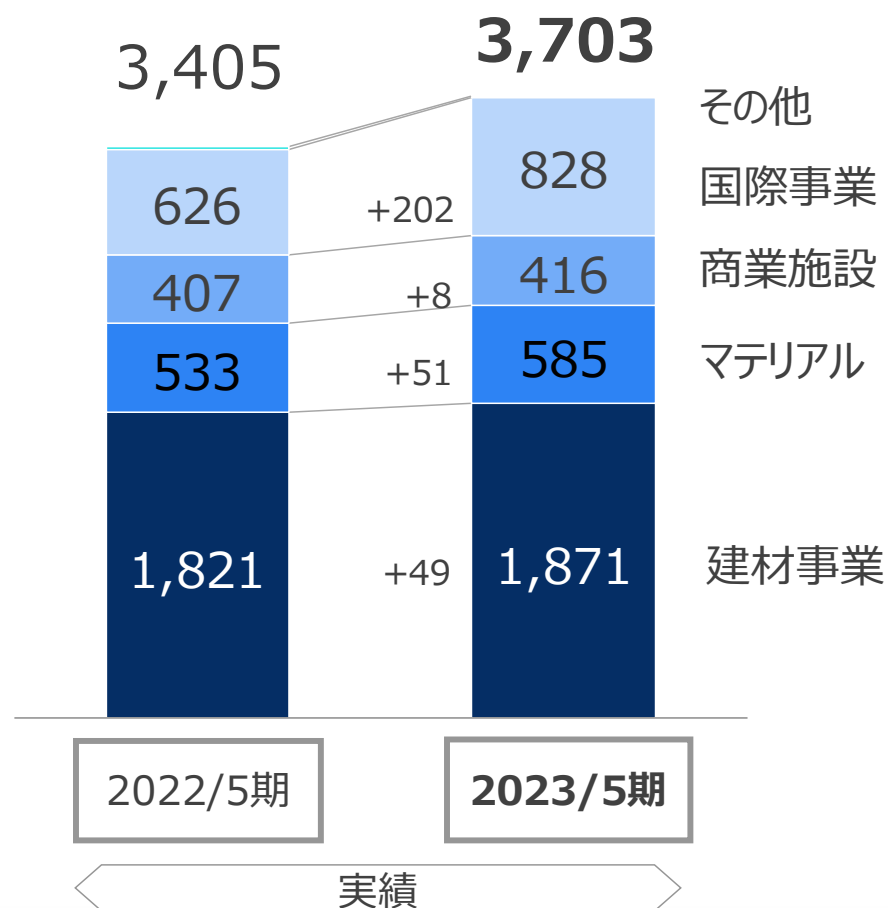
配当

1株当たり 中間配当 10円
 期末配当 10円（予定）

売上高

3,703 億円

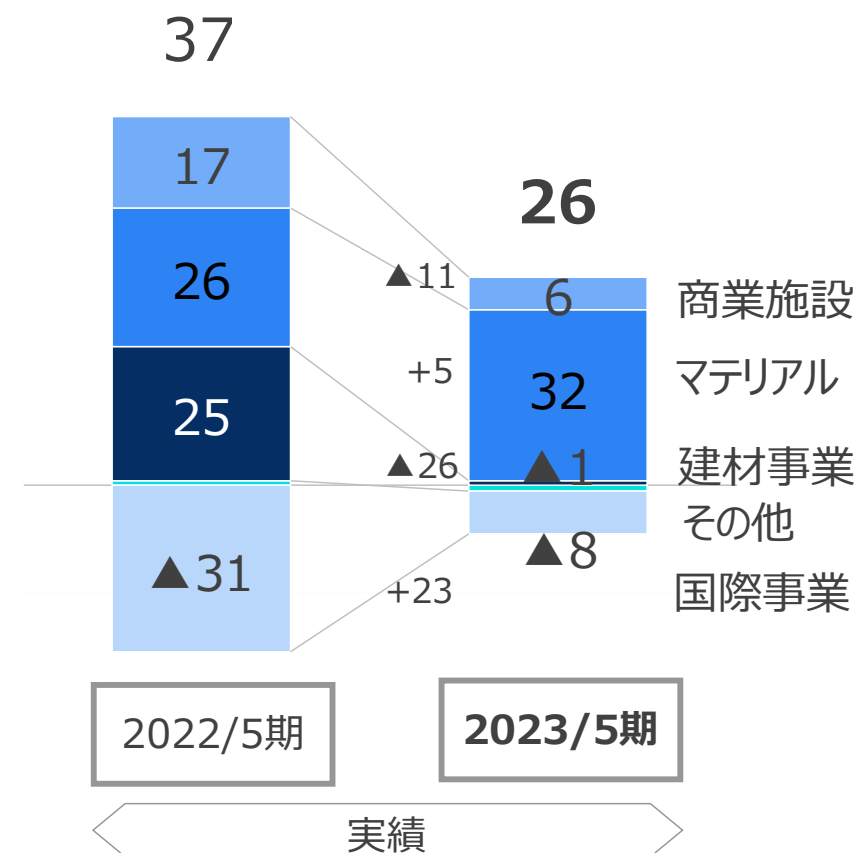
前期比 + 298 億円
(+ 8.8%)



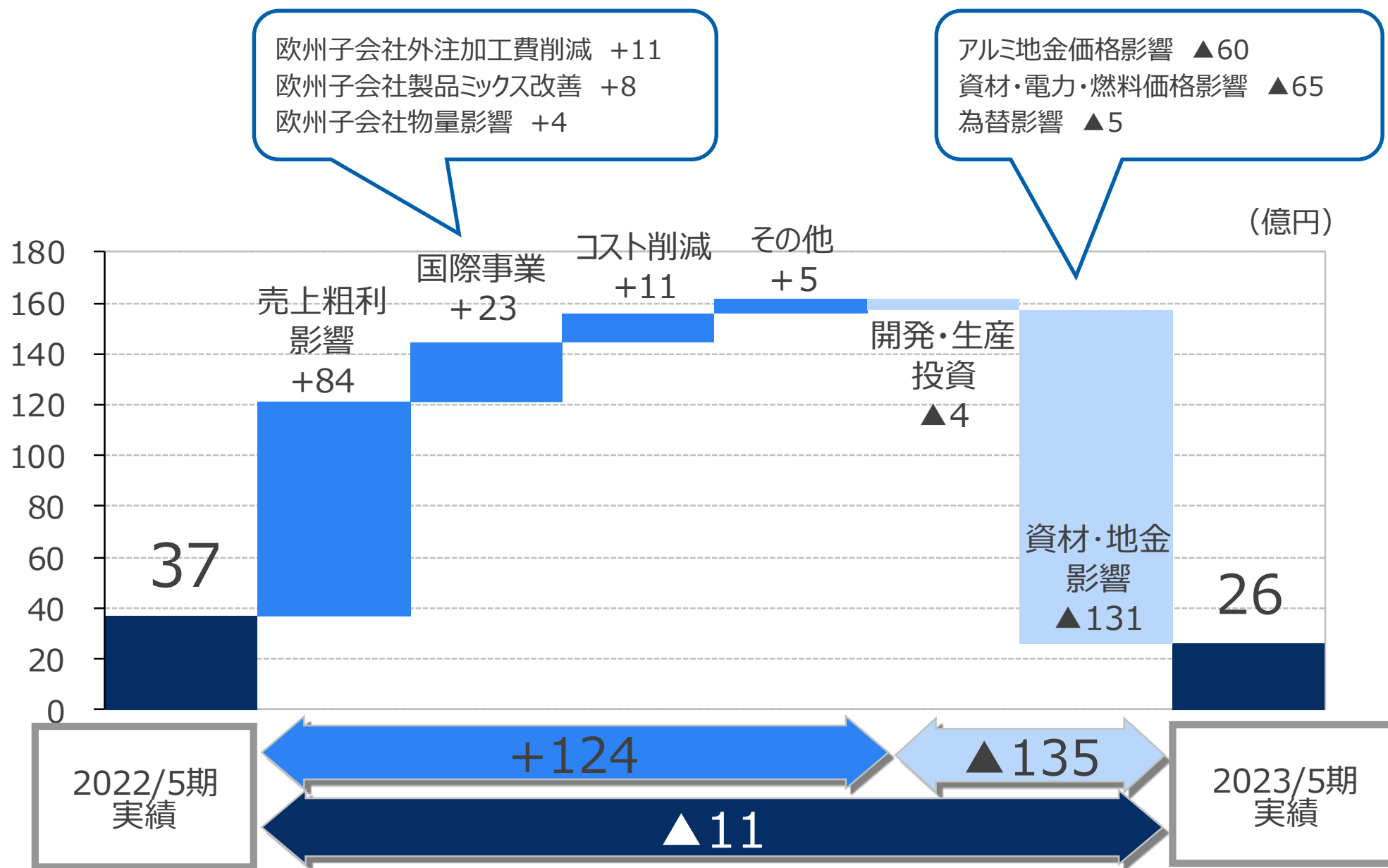
営業利益

26 億円

前期比 ▲ 11 億円
(▲ 29.4%)



※金額は億円未満切り捨て表示



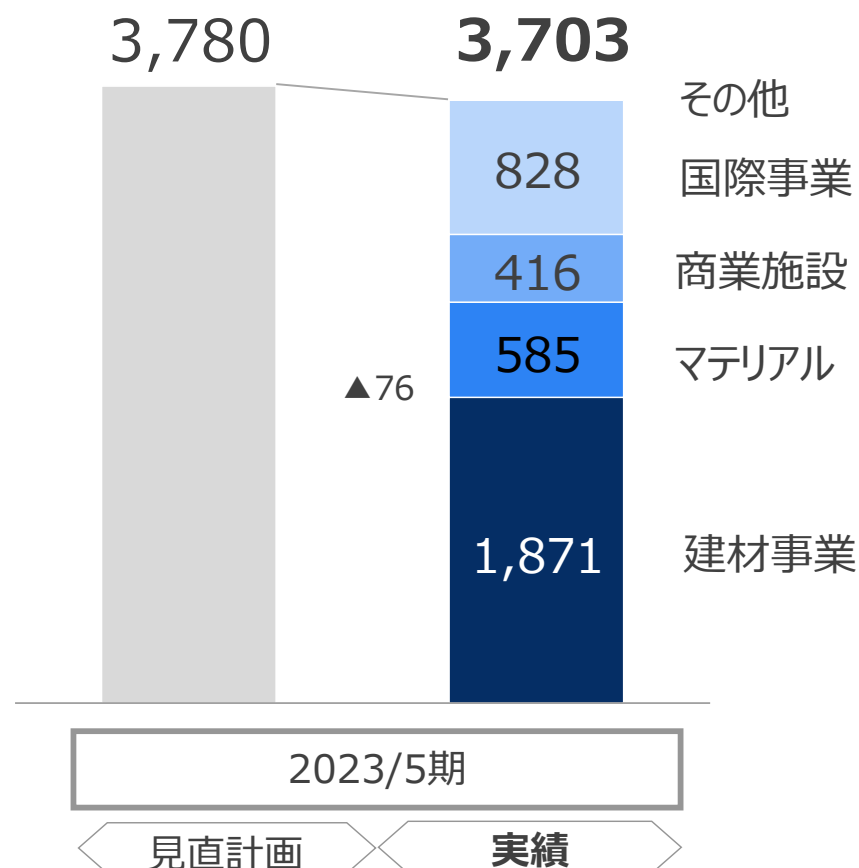
※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

3,703 億円

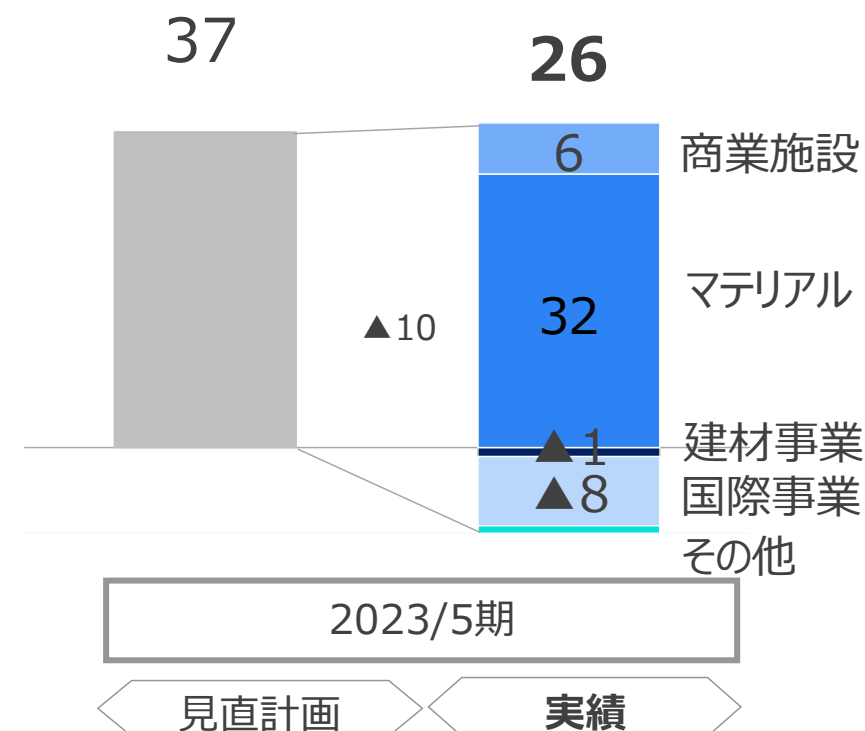
見直計画比 ▲ 76 億円
(▲ 2.0%)



営業利益

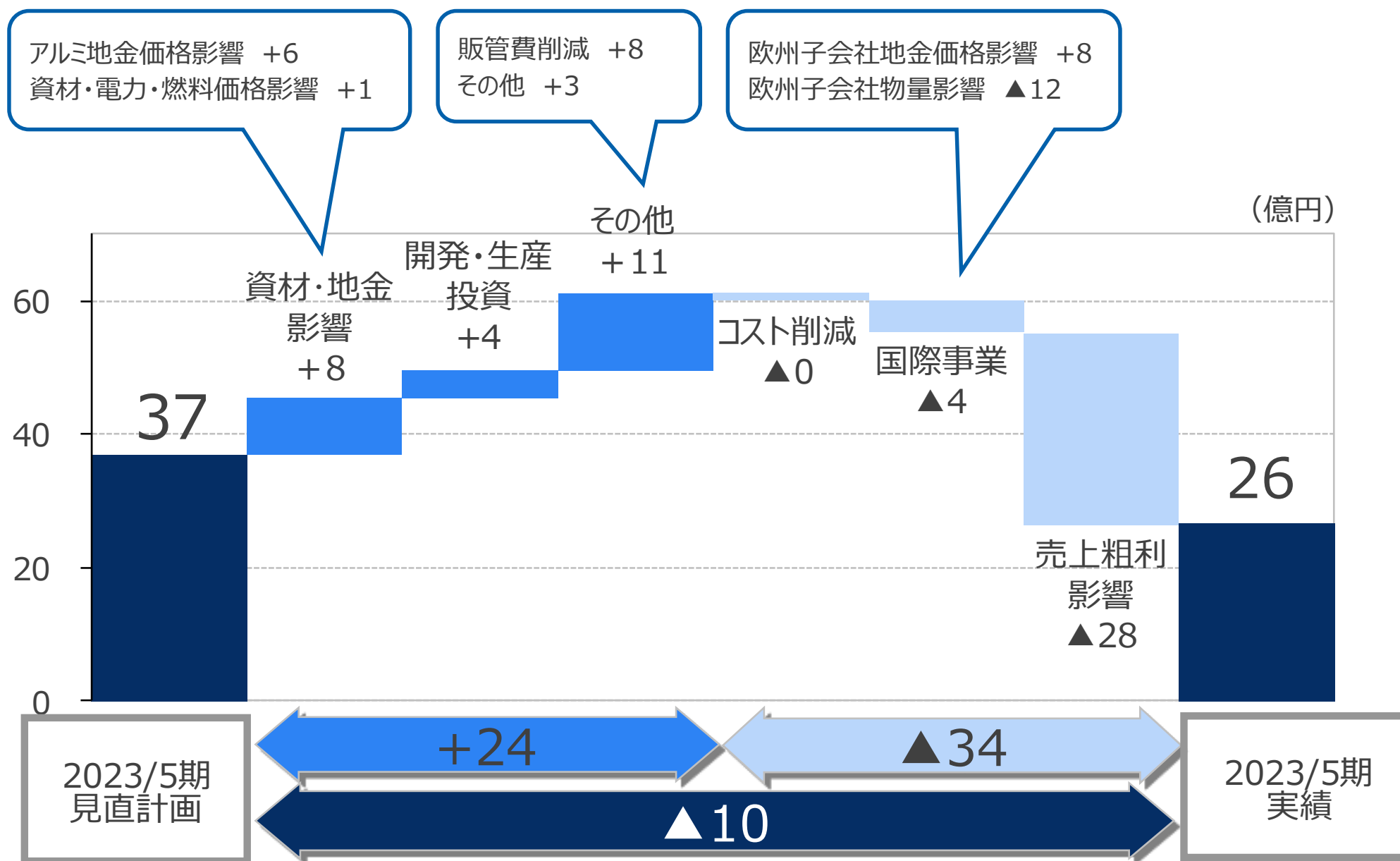
26 億円

見直計画比 ▲ 10 億円
(▲ 27.9%)



※金額は億円未満切り捨て表示

2023/5期 営業利益 増減要因（見直計画比）



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約

※金額は億円未満切り捨て表示

2024年5月期業績予想について

「資本コストや株価を意識した経営」への取り組みについては、2024年5月期中に公表予定の次期中期経営計画に詳細を記載。

具体的には企業価値向上に向けて資本効率の改善や成長分野への投資概要、株主還元方針などを予定。

✓ 2024年5月期業績予想について

◆ 売上高3,750億円、営業利益60億円

- ・建材事業は前期までに実施した価格改定の効果により今期黒字化へ
- ・国際事業はSTEP-Gにおける自動車分野の伸長により2期前倒しで黒字化見通し

◆ 年間配当は1株当たり20円を予想（前期 1株当たり20円）

✓ 2024年5月期業績予想と中期経営計画との対比について

◆ 売上高は中期経営計画に対して450億円増加

- ・アルミ地金価格の上昇と連動した売上増および価格改定による売上増
- ・国際事業における自動車分野での物量増

◆ 営業利益は中期経営計画に対して30億円未達

- ・アルミ地金価格や各種エネルギーを含めた諸資材価格の上昇が計画を大きく上回った
- ・建設市場の停滞による販売物量の減少影響
- ・一方で国際事業は自動車分野での物量増やコスト削減によりセグメント黒字化へ

第2四半期 業績予想

(億円)

	6ヵ月累計（2023年6月～2023年12月）			
	2024/5期 2Q業績予想	2023/5期 2Q実績	増減額	%
売上高	1,890	1,871	+ 18	+ 1.0%
営業利益	30	8	+ 21	+ 242.7%
営業利益率	1.6%	0.5%	—	+ 1.1p
経常利益	30	13	+ 16	+ 126.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15	5	+ 9	+ 191.3%

通期 業績予想

(億円)

	12ヵ月累計（2023年6月～2024年5月）						
	2024/5期 通期業績予想	2023/5期 実績	増減額	%	2024/5期 今中期経営計画	増減額	%
売上高	3,750	3,703	+ 46	+ 1.2%	3,300	+ 450	+ 13.6%
営業利益	60	26	+ 33	+ 124.8%	90	▲ 30	▲ 33.3%
営業利益率	1.6%	0.7%	—	+ 0.9p	2.7%	—	▲ 1.1p
経常利益	55	34	+ 20	+ 60.9%	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	16	+ 13	+ 84.0%	—	—	—

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

配当予想

1株当たり 年間20円を予想

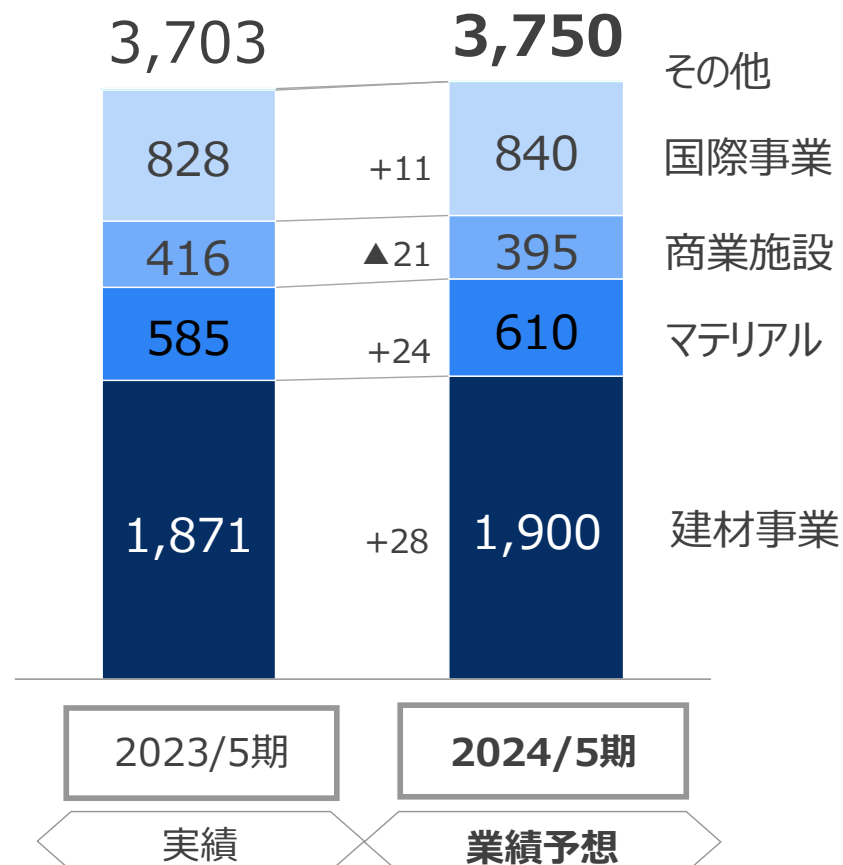
【 中間配当10円
期末配当10円 】

売上高

2024/5期
業績予想 **3,750 億円**

2023/5期
実績 **3,703 億円**

前期比 **+ 46 億円**

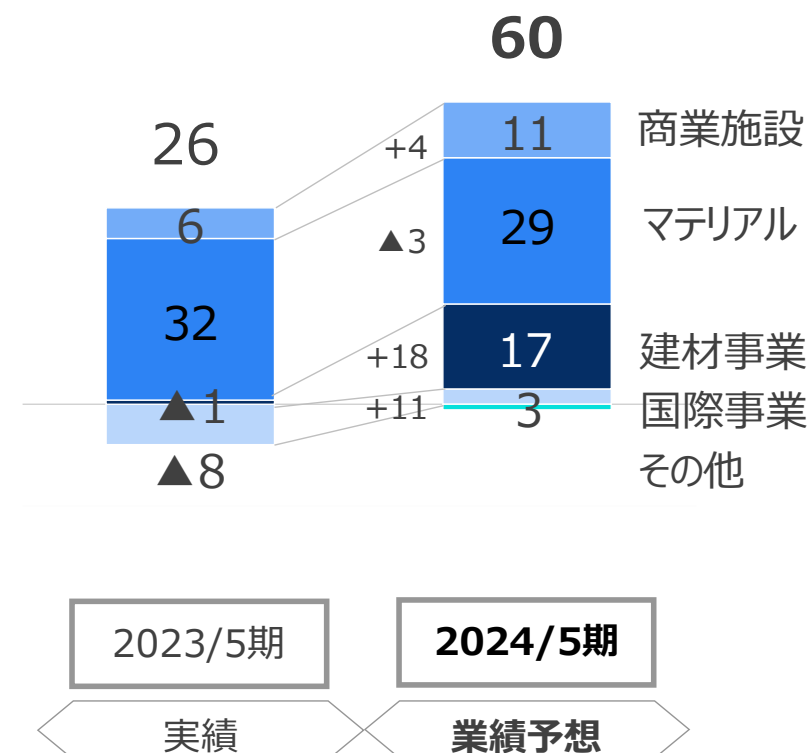


営業利益

2024/5期
業績予想 **60 億円**

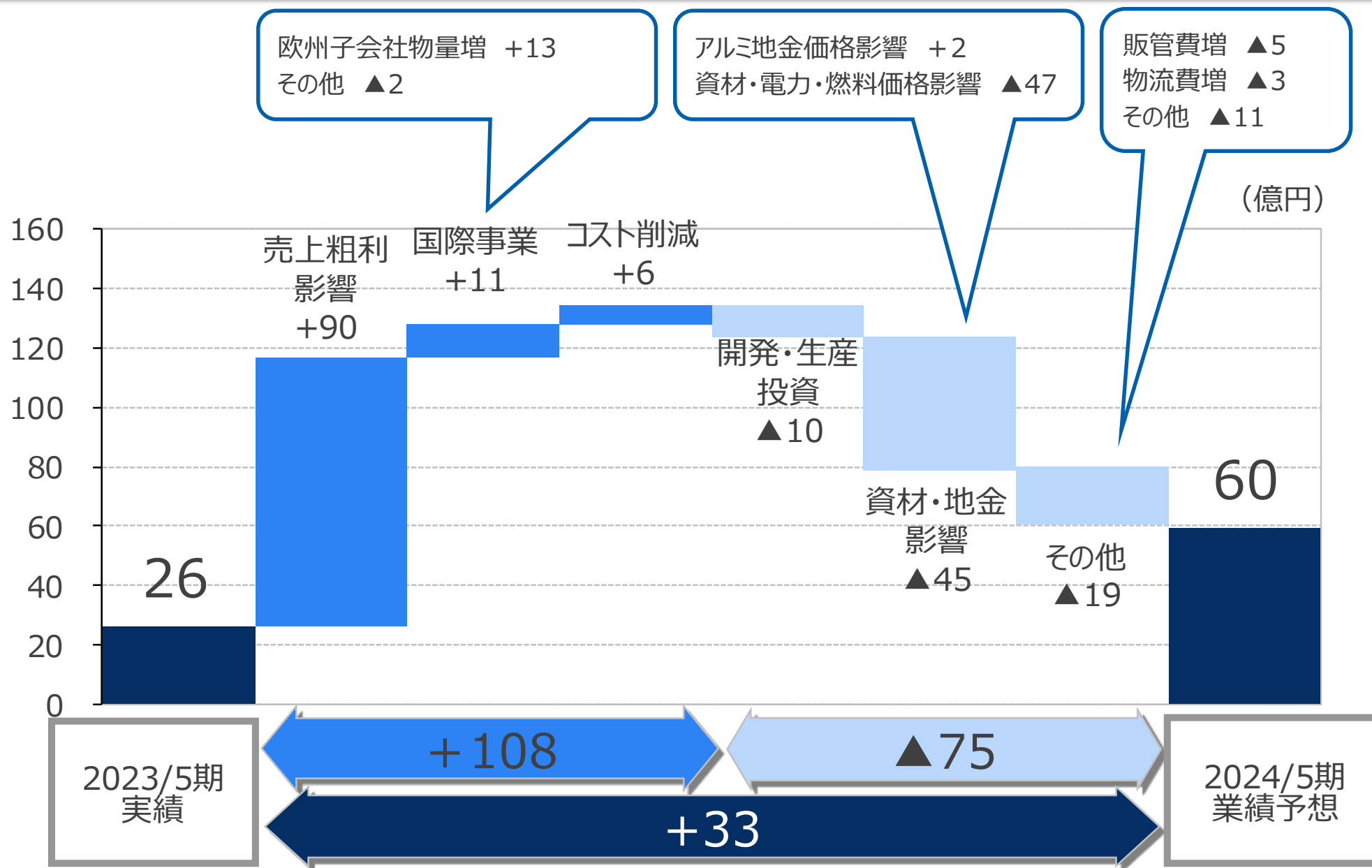
2023/5期
実績 **26 億円**

前期比 **+ 33 億円**



※金額は億円未満切り捨て表示

2024/5期 営業利益 増減要因 (前期比)

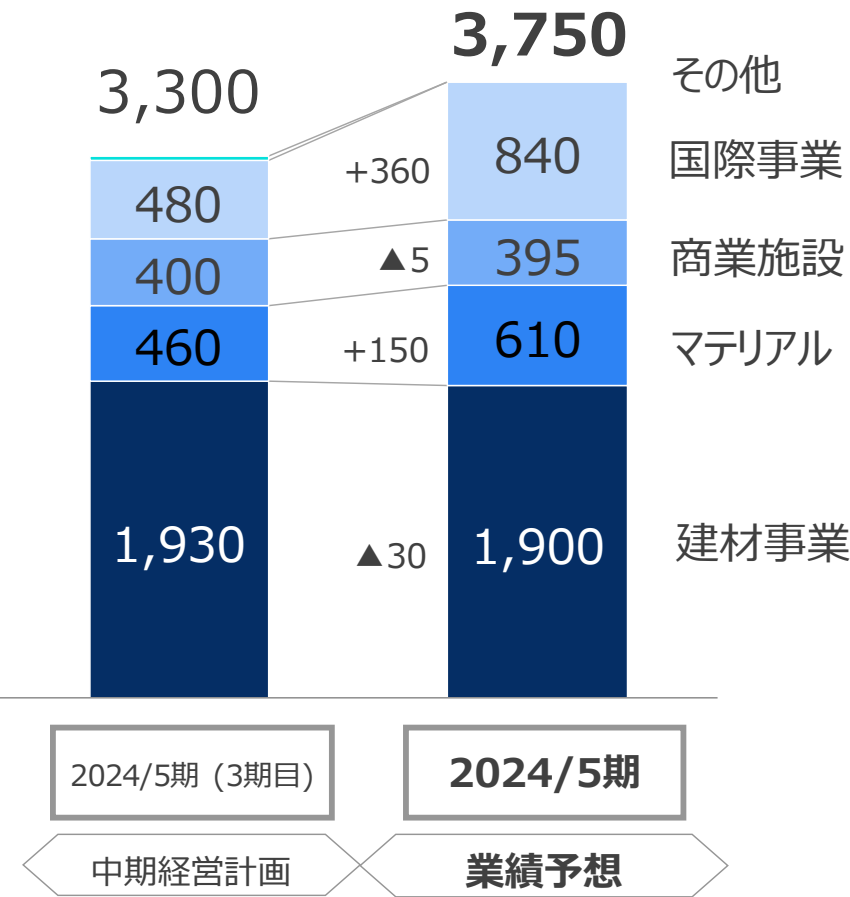


※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約

※金額は億円未満切り捨て表示

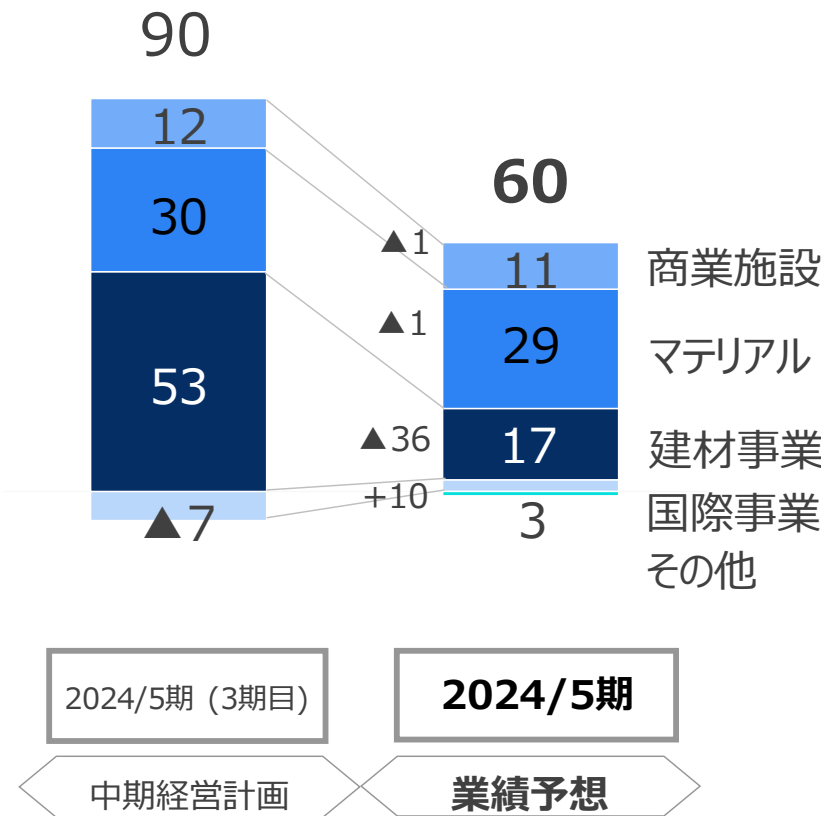
売上高

2024/5期
業績予想 **3,750 億円**
中期経営計画
(3期目) **3,300 億円**
今中期経営計画比 **+ 450 億円**



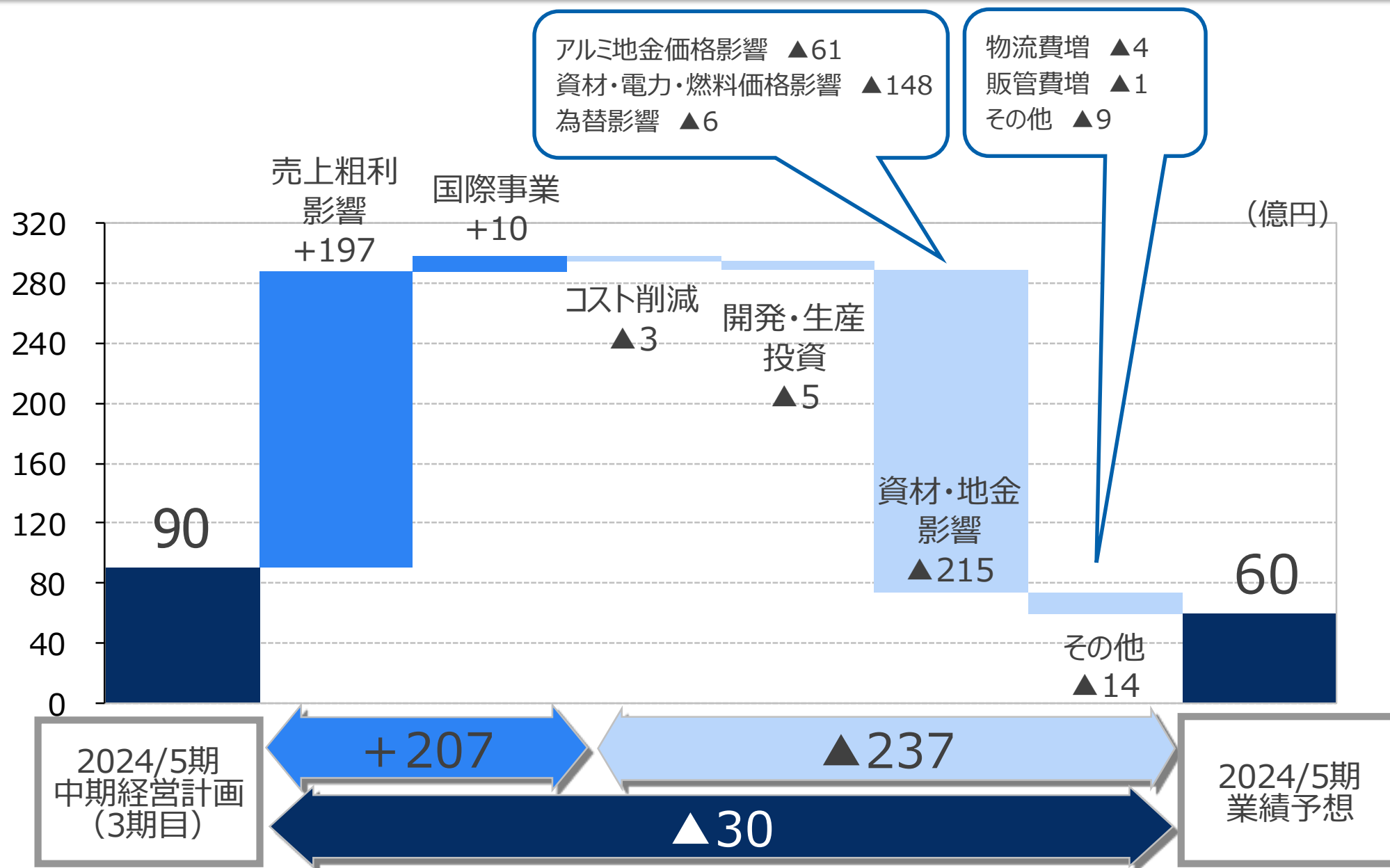
営業利益

2024/5期
業績予想 **60 億円**
中期経営計画
(3期目) **90 億円**
今中期経営計画比 **▲ 30 億円**



※金額は億円未満切り捨て表示

2024/5期 営業利益 増減要因 (中期経営計画比)



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約

※金額は億円未満切り捨て表示

トピックス

リフォーム関連商材 売れ行き好調

3省（経済産業省、国土交通省、環境省）連携「住宅省エネ2023キャンペーン」

2022年末から3省（経済産業省、国土交通省、環境省）の連携による住宅省エネリフォーム支援である「住宅省エネ2023キャンペーン」が開始。建材事業の三協アルミ社においてリフォーム関連商材の売れ行きが好調。



■後付樹脂内窓「プラメイクEII」、「プラメイク」

前年同期比（2022年12月～2023年5月累計）

売上高 約**320%**



■リフォーム商品「NOVARIS（ノバリス）」シリーズ

●サッシ：前年同期比（2022年12月～2023年5月累計）

売上高 約**260%**

●玄関ドア・引戸：前年同期比（2022年12月～2023年5月累計）

売上高 約**110%**

さらなるリフォーム関連商材の拡販に向けて、商品開発および生産体制の強化に努めてまいります。

●三協アルミ社ホームページより「窓リフォームで暮らしのお悩み解決」 ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/reform/mado/>

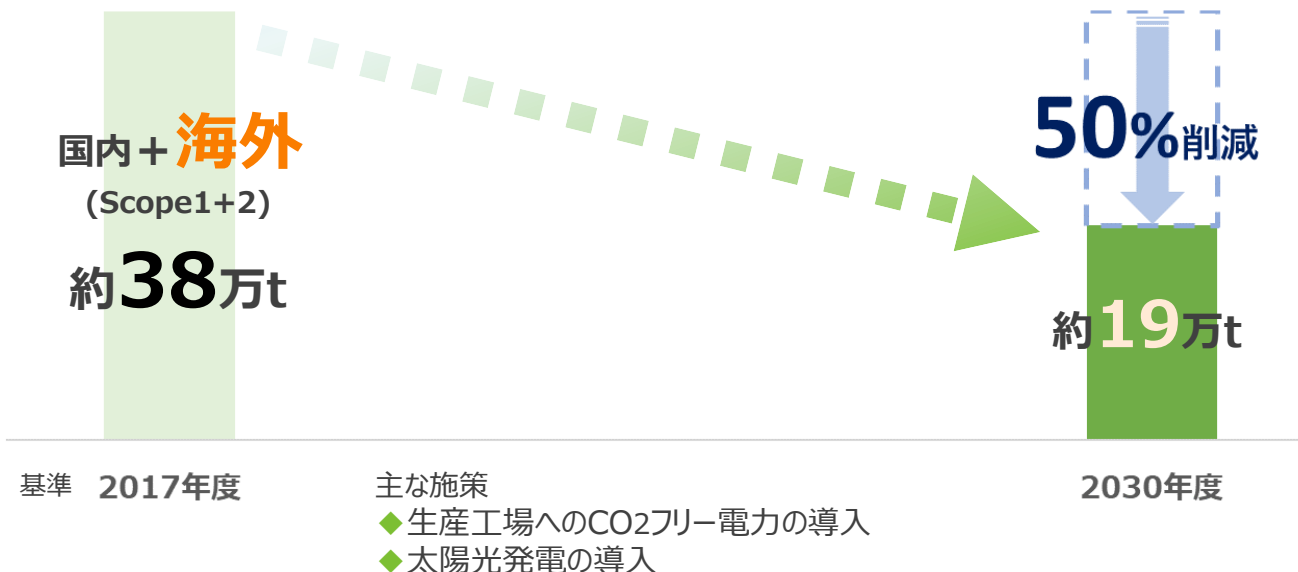


三協立山グループ 温室効果ガス排出量削減目標 海外子会社まで対象拡大



三協立山グループの温室効果ガス排出量（Scope1+2）削減目標の対象を国内グループから、海外子会社を含めたグループ全体へと拡大。グループ全体で気候変動対策に取り組むことで、企業責任を果たす。

2030年目標
温室効果ガス排出量 **50%削減**



(2017年度比)
対象：三協立山グループ Scope1+2
・三協立山
・連結子会社46社 (国内+海外)

海外の主な子会社

- ・STEP-G (生産工場：ドイツ、ベルギー、中国)
- ・Thai Metal Aluminium Co.,Ltd.
- ・Sankyo Tateyama Alloy (Thailand) Co.,Ltd.

ほか

サステナブルで豊かな暮らしに貢献

CO₂排出量の削減に向けた取り組み



■ 工場で使用する電力をCO₂排出ゼロ100%再生可能エネルギー化 CO₂フリー電力導入対象工場、2工場拡大へ

対象：三協アルミ社 新湊工場
三協マテリアル社 新湊東工場

運用時期：2023年6月1日～

CO₂排出削減量：年間約**11,000t-CO₂**

(国内グループ2013年度CO₂排出量の約28万tに対する削減率約**3.9%**)



新湊工場



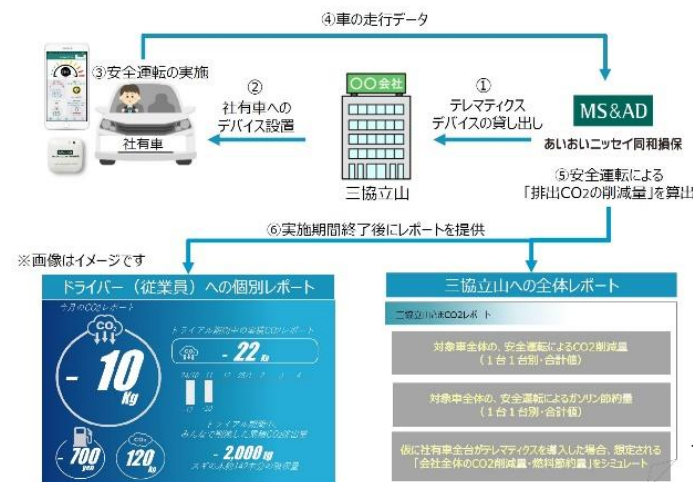
新湊東工場

■ テレマティクス技術を活用し“社有車の安全運転によるCO₂削減量”を可視化 三協立山とあいおいニッセイ同和損保、共同実証実験を実施

実施期間：2023年6月1日～2023年7月31日

対象車：社有車 約100台

三協アルミ社の北信越支店、埼玉事業所、
中四国支店、九州支店



当社は今後も、さまざまな企業活動を通じて、サステナブルで豊かな暮らしに向けた取り組みを進めてまいります。

●ニュースリリース（共同実証実験） ➡ <https://www.st-grp.co.jp/news/2023news/st20230529.html>



三協立山「健康優良法人2023（大規模法人部門）」に認定 ST物流サービス「健康優良法人2023（中小規模法人部門（ブライツ500））」に認定

3 すべての人に
健康と福祉を



8 働きがいも
経済成長も



2023年3月、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として「健康優良法人2023（大規模法人部門）」に認定。また、グループ会社のST物流サービス株式会社が「健康優良法人2023（中小規模法人部門（ブライツ500））」に認定。



■三協立山
大規模法人部門
3年連続認定
(2021年はホワイト500に認定)



■ST物流サービス
中小規模法人部門
2年連続認定

※ブライツ500：中小規模法人部門のうち上位500社に与えられる

今後も当社グループは、社員が安心して健康で働ける職場環境を築くことで、経営理念である「お得意先・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献」するため、さらなる健康経営への取り組みを進めてまいります。

●ニュースリリース（健康優良法人） ➡ <https://www.st-grp.co.jp/news/2023news/st20230309.html>



2023年5月期 下期 (2022年12月～2023年5月)

商品リリース一覧



2022年12月

商業施設事業 商品陳列棚用ブラケット「スライドチェンジャー」発売

2023年1月

建材事業 超高層マンション対応「DI窓」に「防火タイプ」追加

2023年2月

建材事業 インテリア建材「LiVERNO」リニューアル

2023年3月

建材事業 カーポート型太陽光パネル架台「エネジアース」開発

建材事業 カーポート・マルチルーフ「アトラード」にブラック色追加

建材事業 玄関リフォーム「ノバリス玄関引戸」強化

建材事業 ハイタイプの型材フェンスに「ブロック施工納まり」追加



商品陳列棚用ブラケット
「スライドチェンジャー」

2023年3月

建材事業 アルミ樹脂複合サッシ「防火窓ALGEO」
防火用シャッター付引違い窓にフラットレール
(デッキ納まりタイプ) 追加

業界初

建材事業 新電気錠システムの「アクゾシリーズ」発売

2023年4月

建材事業 玄関スマートロック「e・エントリー」SLタイプ（電池式）、
ACタイプ（電気式）一体型ハンドル発売

建材事業 ガーデンスクリーン、型材門扉「エルファード」にブラック色追加

2023年5月

建材事業 宅配ボックス「フレムスLight S型」発売

建材事業 新シリーズ「X.style（クロススタイル）」発売



X.style
(クロススタイル)



●ニュースリリース（建材事業／三協アルミ社）➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2023news/news2023.html>

●ニュースリリース（商業施設事業／タテヤマアドバンス社）➡ <https://advance.st-grp.co.jp/news/>



カーポート型太陽光パネル架台「エネジアース」 京都府「伊根町再生エネ活用型EV充電設備整備工事」に採用



建材事業の三協アルミ社が開発したカーポート型太陽光パネル架台「エネジアース」が、「伊根町再生エネ活用型EV充電設備工事※1」において採用され、伊根町（京都府与謝郡）に納入。

※1「伊根町再生エネ活用型EV充電設備工事」：伊根町が経済産業省の「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金」の採択を受けて、再生可能エネルギー活用プロジェクトを構築することを目的とし、企画提案方式により公募した工事。



駐車台数20台分の
「エネジアース」を納入

発電した電気で、
伊根町予約型乗合
交通（通称：いねタク）
などのEV充電が可能



今後もEPC事業者※2と協力し、一般地域から積雪地域まで幅広いエリアで「エネジアース」の導入提案活動を進め、再生可能エネルギーの活用にご貢献してまいります。

※2 EPC事業者：太陽光発電システムの設計(Engineering)・調達(Procurement)・建設(Construction)を一貫して引き受ける業者。

●ニュースリリース（伊根町） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2023news/ex20230411.html>



●ニュースリリース（エネジアース） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2023news/ex20230310.html>



参考資料

	対象期間	2020年	2021年	2022年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-3月	81.2万戸 (8.1%減)	86.6万戸 (6.7%増)	86.1万戸 (0.6%減)
新設住宅着工戸数[持家]	4月-3月	26.3万戸 (7.1%減)	28.1万戸 (6.9%増)	24.8万戸 (11.8%減)
新設住宅着工戸数[貸家]	4月-3月	30.3万戸 (9.5%減)	33.1万戸 (9.3%増)	34.7万戸 (5.0%増)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-3月	64.5百万㎡ (8.0%減)	69.7百万㎡ (8.0%増)	69.9百万㎡ (0.4%増)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-5月	32.1万 t (5.1%減)	32.4万 t (0.9%増)	31.1万 t (4.1%減)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗]	4月-3月	5,058棟 (19.6%減)	5,492棟 (8.6%増)	5,734棟 (4.4%増)
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-3月	343.4万台 (22.2%減)	298.4万台 (13.1%減)	375.7万台 (25.9%増)
タイ自動車生産台数	4月-3月	144.0万台 (24.4%減)	169.7万台 (17.9%増)	192.0万台 (13.1%増)
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-5月	261.1円/kg	402.0円/kg	394.6円/kg

() は前期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減		'22/5期	'23/5期	増減	
1Q	421	437	+16	+3.8%				
2Q	484	505	+21	+4.3%	906	943	+37	+4.1%
3Q	451	448	▲3	▲0.7%	1,358	1,392	+33	+2.5%
4Q	463	479	+15	+3.4%	1,821	1,871	+49	+2.7%

- 新設住宅着工戸数は減少しているものの政府の補助金創設によるリフォーム需要の増加
- 価格改定の効果

セグメント利益

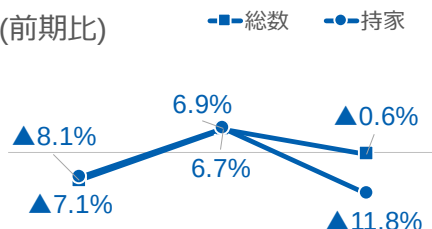
(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減		'22/5期	'23/5期	増減	
1Q	4	▲7	▲12	-				
2Q	12	1	▲10	▲86.0%	17	▲5	▲23	-
3Q	▲2	▲1	+0	-	14	▲7	▲22	-
4Q	10	6	▲4	▲39.3%	25	▲1	▲26	-

- 持家着工数の低迷による販売数量の減少
- 想定以上のエネルギーや諸資材価格の上昇

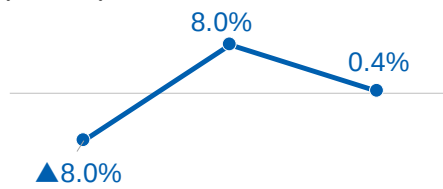
事業環境

新設住宅着工戸数
(前期比)



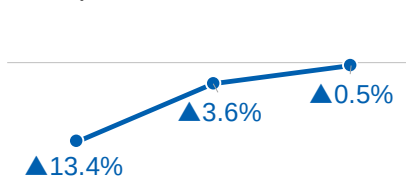
出典 国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築着工床面積
(前期比)



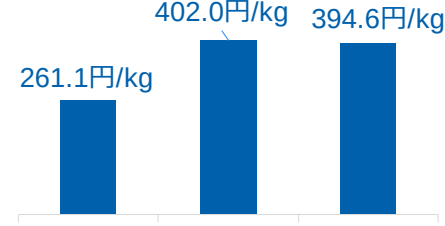
出典 国土交通省 建築着工統計調査報告

ビル用アルミサッシ販売重量
(前期比)



出典 経済産業省 生産動態統計

アルミ地金価格[日経平均] ※4~3月累計 ※6~5月12ヵ月平均



出典 日本経済新聞

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減		'22/5期	'23/5期	増減	
1Q	119	143	+23	+19.8%				
2Q	126	150	+24	+19.1%	246	293	+47	+19.4%
3Q	135	148	+12	+9.2%	382	442	+60	+15.8%
4Q	151	143	▲8	▲5.8%	533	585	+51	+9.7%

- アルミ地金市況に連動する売上の増加など

セグメント利益

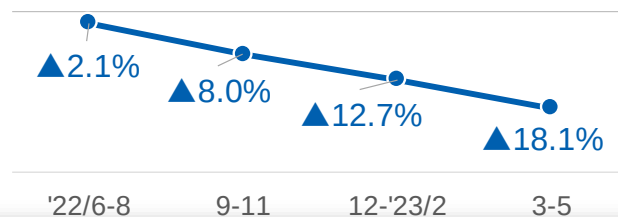
(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減		'22/5期	'23/5期	増減	
1Q	10	8	▲1	▲18.7%				
2Q	5	10	+5	+96.8%	16	19	+3	+21.0%
3Q	3	3	+0	+0.9%	19	22	+3	+17.3%
4Q	6	9	+2	+39.3%	26	32	+5	+22.8%

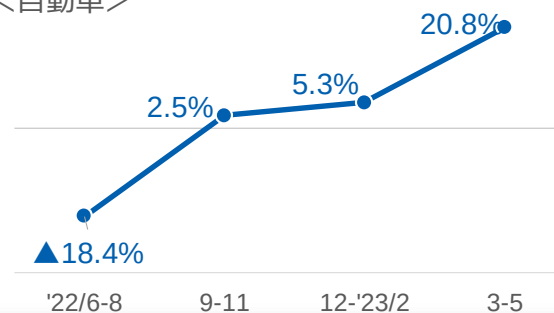
- エネルギーや諸資材価格の上昇影響
- 収益改善施策の実施

事業環境

国内アルミ型材押出重量 <一般機械>
(前期比)



<自動車>



出典 日本アルミニウム協会統計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減		'22/5期	'23/5期	増減	
1Q	94	91	▲3	▲3.8%				
2Q	111	116	+4	+4.4%	206	208	+1	+0.6%
3Q	100	95	▲4	▲4.8%	307	303	▲3	▲1.2%
4Q	100	112	+12	+12.3%	407	416	+8	+2.2%

- 小売業を中心に店舗の新規出店や改装の需要を取り込んだことなど

セグメント利益

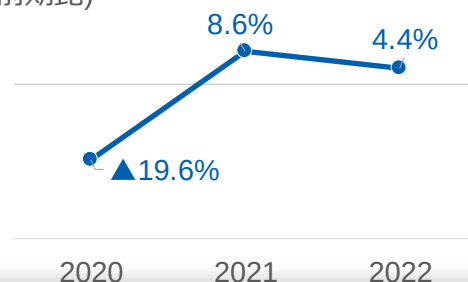
(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減		'22/5期	'23/5期	増減	
1Q	3	0	▲3	▲85.1%				
2Q	6	2	▲3	▲60.2%	10	3	▲7	▲69.8%
3Q	5	0	▲5	▲94.4%	15	3	▲12	▲78.3%
4Q	1	2	+1	+73.5%	17	6	▲11	▲64.9%

- 価格改定を進めているが、諸資材価格の上昇や為替影響などを受ける

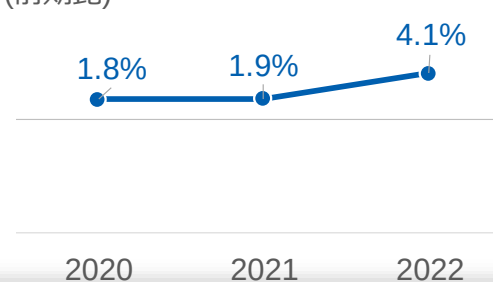
事業環境

建築着工棟数[店舗]
(前期比)



出典 国土交通省
建築着工統計調査報告

小売業販売額
(前期比)



出典 経済産業省
商業動態統計調査

※4～3月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減		'22/5期	'23/5期	増減	
1Q	144	202	+58	+40.7%				
2Q	143	221	+78	+54.6%	287	424	+136	+47.7%
3Q	158	194	+35	+22.5%	446	618	+172	+38.7%
4Q	180	209	+29	+16.4%	626	828	+202	+32.3%

- 為替影響
- アルミ地金市況の連動
- 欧州、タイの自動車分野が堅調に推移したことなど

セグメント利益

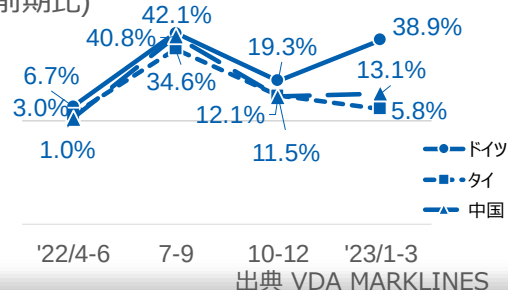
(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減		'22/5期	'23/5期	増減	
1Q	▲ 4	▲ 10	▲ 6	-				
2Q	▲ 8	3	+11	-	▲ 12	▲ 6	+5	-
3Q	▲ 10	0	+10	-	▲ 22	▲ 6	+15	-
4Q	▲ 8	▲ 1	+7	-	▲ 31	▲ 8	+23	-

- エネルギー価格などの上昇影響
- 欧州子会社でのコスト改善施策や価格転嫁を進めたこと

事業環境

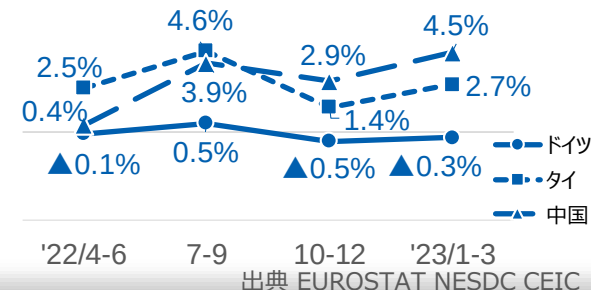
自動車生産台数
(前期比)



ドイツEV自動車販売台数シェア
(前期比)



GDP (国内総生産)
(前期比)



貸借対照表

2022/5期

2023/5期

(億円)

流動資産 1,416	流動負債 1,218
固定資産 1,267	固定負債 610
	純資産 856

流動資産 1,512	流動負債 1,280
固定資産 1,316	固定負債 622
	純資産 926

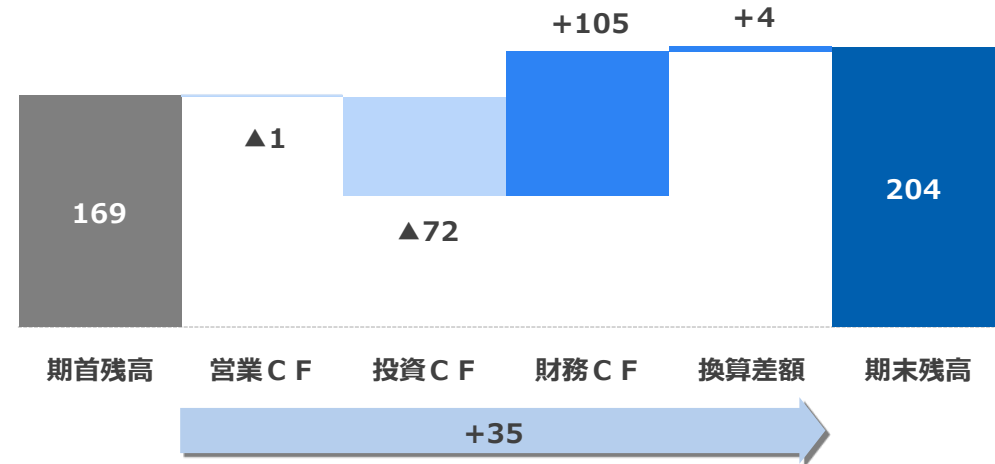
	2022/5期 期末	2023/5期 期末	前期末比
総資産	2,684	2,829	144
自己資本	825	894	69
自己資本比率	30.8%	31.6%	0.8pt
有利子負債	703	825	122
有利子負債比率	85.2%	92.2%	7.0pt

※ 金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

※ 自己資本 : 純資産 - 非支配株主持分
 自己資本比率 : 自己資本 / 総資産
 有利子負債 : 短期借入金 + 長期借入金 + 社債
 有利子負債比率 : 有利子負債額 / 自己資本

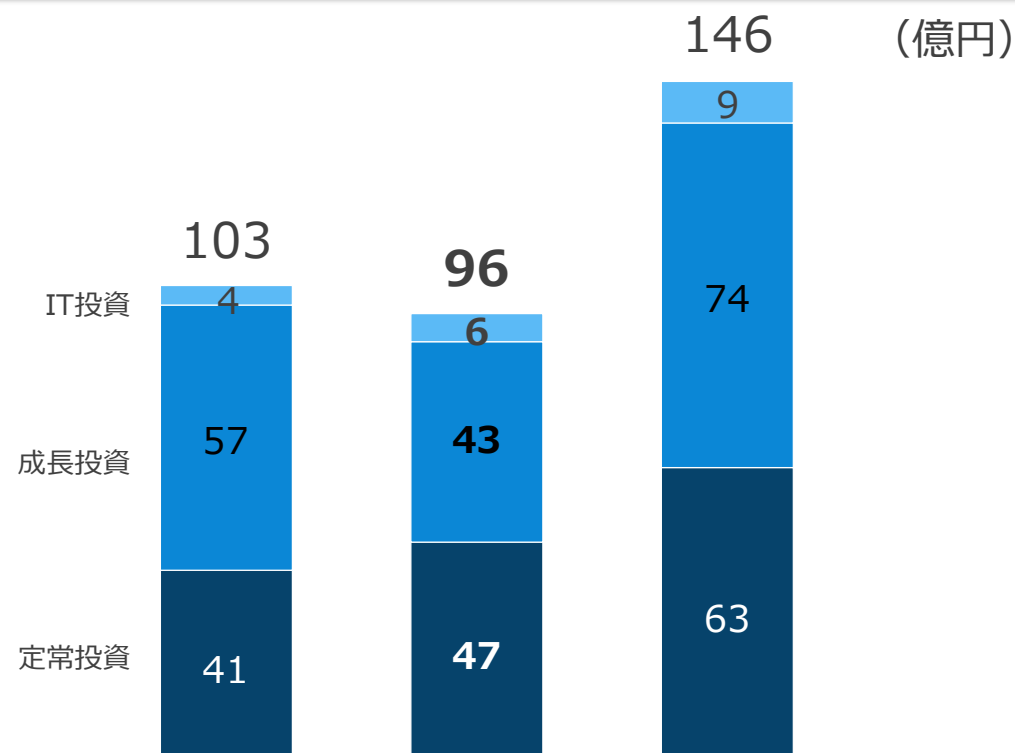
キャッシュ・フロー

(億円)



営業CF	▲ 1	投資CF	▲ 72	財務CF	105
税金等調整前 当期純利益	31	有形固定資産の 取得による支出	▲76	短期借入金純増減 (▲は減少)	115
減価償却費	82	その他	3	長期借入れによる 収入	188
売上債権の増減 (▲は増加)	▲26			長期借入金の 返済による支出	▲186
棚卸資産の増減 (▲は増加)	▲33			配当金の支払額	▲4
仕入債務の増減 (▲は減少)	▲41			その他	▲7
法人税等の支払額	▲16				
その他	3				

※ 金額は億円未満切り捨て表示



《内訳》	2022/5月期 実績	2023/5月期 実績	2024/5月期 計画
定常投資	41	47	63
成長投資	57	43	74
IT投資	4	6	9
合計	103	96	146
(うち海外子会社)	(53)	(37)	(61)

減価償却費	80	82	86
-------	----	----	----

※金額は億円未満切り捨て表示

【 連結および持分法の適用範囲 】

(社)

	2022/5期 期末	2023/5期 期末	前期末比
連結子会社	47	46	▲ 1
持分法適用会社	7	6	▲ 1
合計	54	52	▲ 2

【 人員の状況（正社員） 】

(名)

	2022/5期 期末	2023/5期 期末	前期末比
三協立山	5,034	4,968	▲ 66
連結子会社	5,341	5,405	+ 64
合計	10,375	10,373	▲ 2

【 計画前提・実績 】

		期中 平均値	2022/5期 実績	2023/5期 前提 (通期)	2023/5期 実績	2024/5期 計画前提
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6～5月	402.0円/kg	405.0円/kg	394.6円/kg	375.0円/kg
為替	ドル	4～3月	112.4円	130.0円	135.5円	135.0円
	ユーロ	4～3月	130.5円	130.0円	141.0円	140.0円
	バーツ	4～3月	3.4円	3.5円	3.8円	3.8円
	元	4～3月	17.5円	20.0円	19.7円	19.5円

サステナビリティビジョン2050 Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

カーボンニュートラルへの挑戦

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減と、環境技術で創出する商品・サービスによる温室効果ガス排出削減とのバランスにより、カーボンニュートラルを目指す。

資源の循環

循環型社会の実現に向けて、主要原材料の循環使用の促進と、廃棄物の再資源化を推進。

人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創出し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につなぐ。

2030年目標

温室効果ガス排出量

2017年度比で 50% 削減

対象：三協立山グループ（グローバル連結）
Scope1+2

循環アルミの使用を促進

女性管理職比率 10%

E 環境



S 社会



G ガバナンス



【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社および連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しています。それらの影響により、三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性およびその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、為替相場、アルミ地金などの価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。